

為替相場について考える

～金融のグローバル化の為替相場～

3年 社会科

「金融の仕組みとお金の価値」

資料の活用(情報の整理、表現)

ねらい

○さまざまな立場により為替相場の変動によって受ける影響が異なることを、多面的に考え、表現することができる。

○為替相場の変動が企業や私たちの生活に及ぼす影響や問題点について、資料から適切に読み取ることができる。

学 習 展 開

- ① 為替相場のしくみについて知る。
- ② 為替相場に関する新聞記事を示し、その内容を理解する。自分の考えをもつために、生徒一人ひとりが自分の興味をもった資料を活用して、円高・円安のしくみと私たちの暮らしや日本経済に与える影響、問題点について調べる。
- ③ 各自が調べたことの「要因」「しくみ」「影響」「現状」4点について、グループで発表する。
- ④ 調べて得た情報や導き出した自分の考えをもとに、1つのテーマに対し、グループで話し合い「自分の立場として円高・円安どちらが望ましいか」自分の考えを発表、共有し深める。



新聞記事を確認し、学習の目当てを確認する場面



グループでの話し合いを学級で共有し、考えを深める場面

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 授業者・司書教諭・学校司書が協力して、ねらいにそった単元計画づくりと資料の選定を行う。
- 学校司書は、米子市立図書館・米子市内小中学校から必要な資料を借り、本校蔵書に加えて、資料提供する。

☆指導のポイント

- ◆ 年間を通じて廊下に新聞を置くなど、日頃から社会の出来事に対する興味を高める工夫をする。
- ◆ 各自がつくった資料をグループ内で共有・活用することによって、対話的な学びの充実を図る。

資料

『15歳から身につける経済リテラシー』（朝日学生出版社）、『経済ってこうなるんだ教室』（プレジデント社）、『学校では教えてくれないお金の話』（河出書房新社）、『今までで一番やさしい経済の教科書』（ダイヤモンド社） ほか